

守山企業景況調査報告書

(第 29 回)

平成 28 年 10 月～平成 28 年 12 月期 実 績

平成 29 年 1 月～平成 29 年 3 月期 見通し

守山企業景況調査について

(平成 28 年 10 月～平成 28 年 12 月期)

1. 調査方法

守山商工会議所会員企業 70 社に対し調査票を配布し、回答を依頼した。記入済み調査票は商工会議所へ持参、郵送、Fax 等により回収した。

2. 調査企業

産業別	調査対象企業数	有効回答企業数	回収率
小売業	20	18	90.0%
製造業	13	13	100.0%
建設業	12	11	91.7%
サービス業	19	17	89.5%
卸売業	6	5	83.3%
合計	70	64	91.4%

3. 調査期間

調査期間は、実績を平成 28 年 10 月～平成 28 年 12 月、見通しを平成 29 年 1 月～平成 29 年 3 月とし、調査時点は平成 29 年 1 月 31 日とした。

4. 調査データについて

調査の結果を示す指標として DI 指数を採用した。DI 指数とは DIffusion Index (景気動向指数) の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値である。

「業況」、「売上」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金の借入れ難易度」の DI 指数は 3 カ月前との比較である。

「取引の問い合わせ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は過去との比較ではなく、調査時点での水準を聞いたものである。

調査の概要

平成 28 年 10 月～12 月期の守山企業景況調査の結果は、以下の通りである。調査結果は DI

指数（景気動向指数）を用いて示している。

DI は、「増加」「好転」等の企業割合から「減少」・「悪化」等の企業割合を差引いた数値である。そのため、DI が±0 の状態であれば、「増加」・「好転」等の企業割合と「減少」・「悪化」等の企業割合が同じであることを示し、プラスの数値であれば「増加」・「好転」等の企業割合が「減少」・「悪化」等の企業割合よりも多いことを示す。逆に DI がマイナスの数値であれば、「増加」・「好転」等の企業割合が「減少」・「悪化」等の企業割合よりも少ないことになる。

また、グラフは右肩上がりになれば良い方向に向っていると判断でき、右肩下がりになれば良くない方向に進んでいると考えられる。

平成 28 年 10 月～12 月期の調査結果では、売上高、業況、採算、資金繰りの主要 4 指標で前回調査より数値が上昇した。

<業況>

業況 DI は▲17.7 で前回調査の▲25.4 から 7.7 ポイント上昇した。業種別では、小売業▲29.4（前回調査比+7.4）、製造業 0.0（前回調査比+7.7）、建設業 0.0（前回調査比+36.4）、サービス業▲25.0（前回調査比▲8.3）、卸売業▲40.0（前回調査比▲6.7）と小売業、製造業、建設業が上昇した。

1 月～3 月期見通しは全体で▲25.0 であり、低下の見込である。

<売上高>

売上高 DI は▲12.7 で前回調査より 18.6 ポイント上昇した。業種別では、小売業▲5.6（前回調査比+36.5）、製造業 0.0（前回調査比+15.4）、建設業▲9.1（前回調査比+9.1）、サービス業▲35.3（前回調査比+3.6）、卸売業 0.0（前回調査比+33.3）であり、全ての業種で上昇した。

1 月～3 月期見通しは全体で▲21.9 となっており、低下の見込である。

<採算（経常利益）>

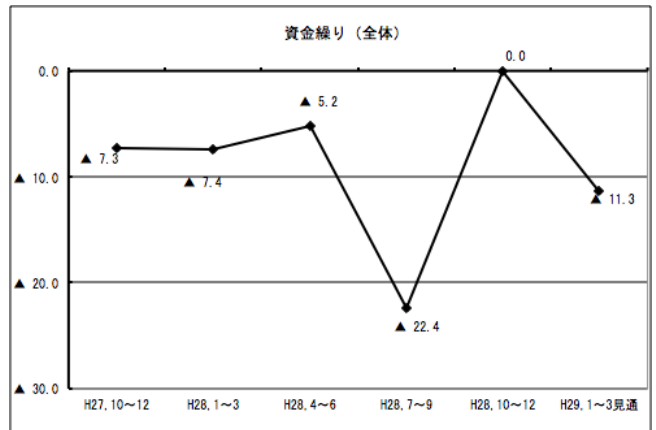
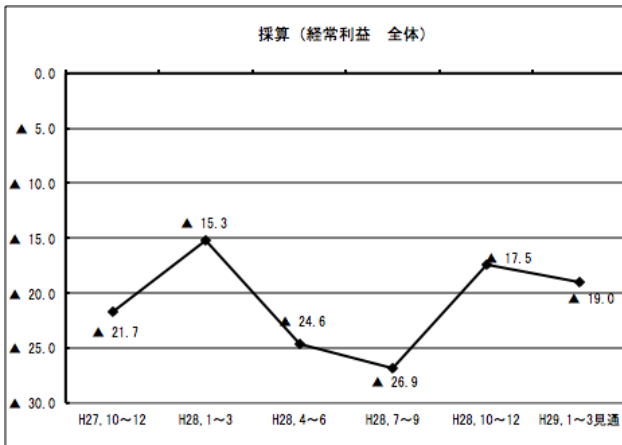
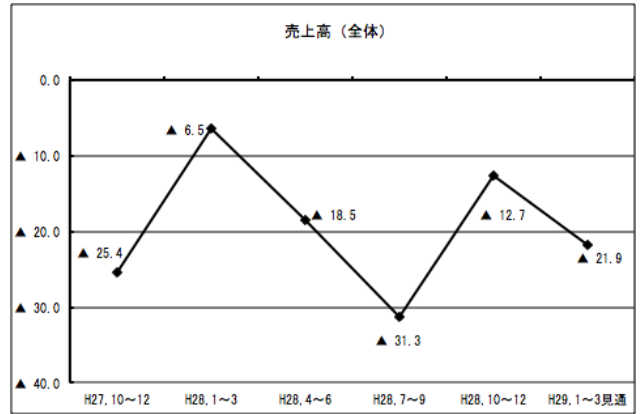
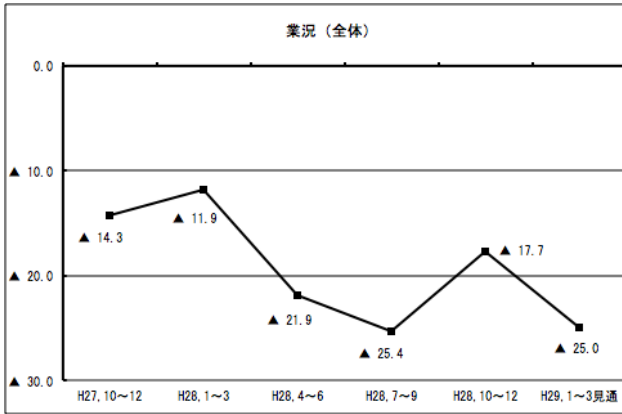
採算（経常利益）DI は▲17.5 で前回調査より 9.4 ポイント上昇した。業種別では、小売業▲27.8（前回調査比+14.3）、製造業 0.0（前回調査比±0.0）、建設業▲10.0（前回調査比+8.2）、サービス業▲23.5（前回調査比+9.8）、卸売業▲20.0（前回調査比+13.3）で製造業は横ばい、ほかの業種は上昇している。

1 月～3 月期見通しは全体で▲19.0 であり、今回調査実績から低下している。

<資金繰り>

資金繰り DI は 0.0 で前回調査より 22.4 ポイント上昇した。業種別では小売業▲5.6（前回調査比+31.2）、製造業 0.0（前回調査比+11.1）、建設業 9.1（前回調査比+39.1）、サービス業 0.0（前回調査比+14.3）、卸売業 0.0（前回調査比±0.0）であった。

1 月～3 月期見通しは全体で▲11.3 であり、今回調査実績から低下している。



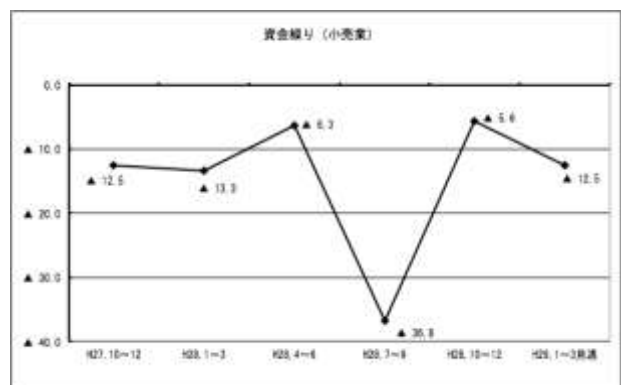
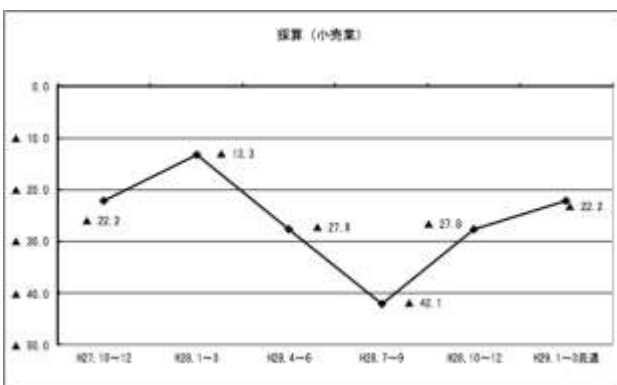
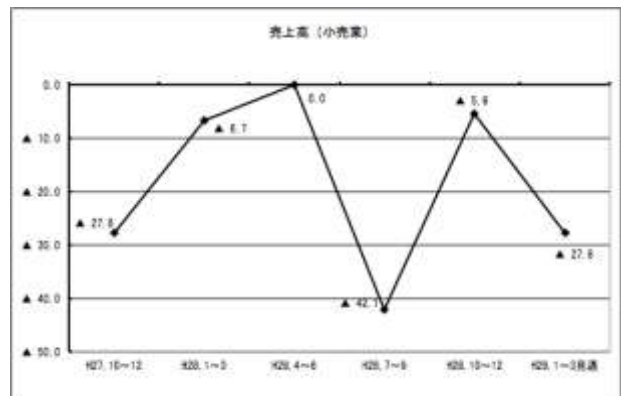
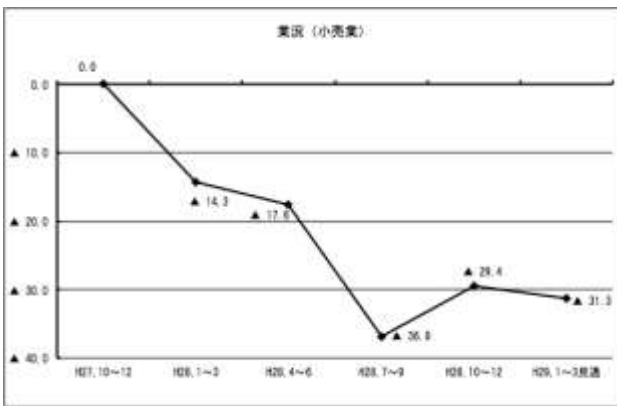
小売業

小売業の業況DIは▲29.4で前回調査より7.4ポイント上昇した。平成28年を見ると1月～3月期から3四半期連続で下り続け、第4四半期になって少し上昇するという結果になった。前年同時期調査と比較すると29.4ポイントの低下であり、28年が苦しい展開であったことがわかる。平成29年1月～3月期見通しは▲31.3と低下しており苦しい展開からの脱却は見込まれていない。

売上高DIは▲5.6で前回調査より36.5ポイント上昇した。28年を見ると前半の2四半期は上昇し、第3四半期が大幅な落込み第4四半期に再び回復と動きの激しい1年であった。前年同時期調査と比較すると22.2ポイントの上昇であった。平成29年1月～3月期見通しは▲27.8で今回調査の上昇は一時的なものと考えられている。

採算DIは▲27.8で前回調査より14.3ポイント上昇した。28年を見ると第2四半期から連続して2四半期下り続け、第4四半期になって上昇した。前年同時期調査と比較すると5.6ポイントの低下であり、2四半期連続で下った影響がぬぐえていない。平成29年1月～3月期見通しは▲22.2で少し回復すると見込まれている。

資金繰りDIは▲5.6で前回調査より31.2ポイント上昇した。28年は資金繰りDIが上下する展開であった。前年同時期調査と比較すると6.9ポイント上昇している。平成29年1月～3月期見通しは▲12.5と下ってしまう見通しである。



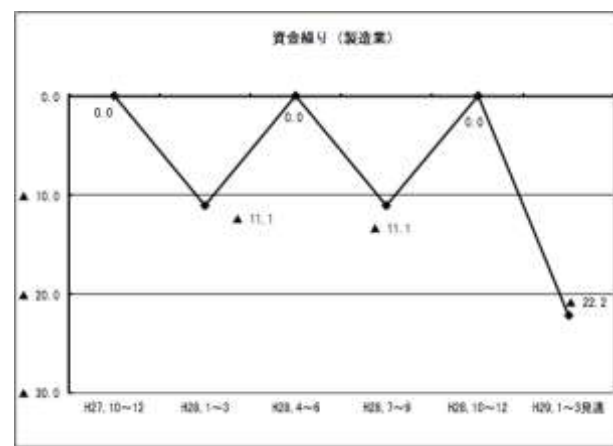
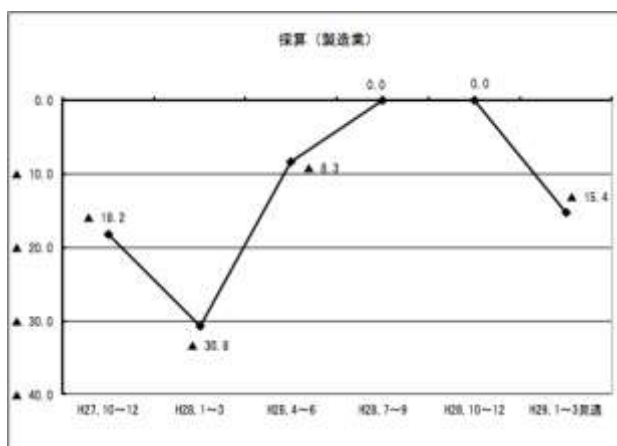
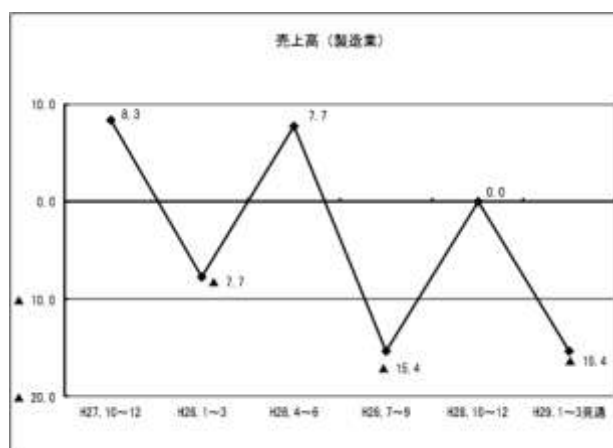
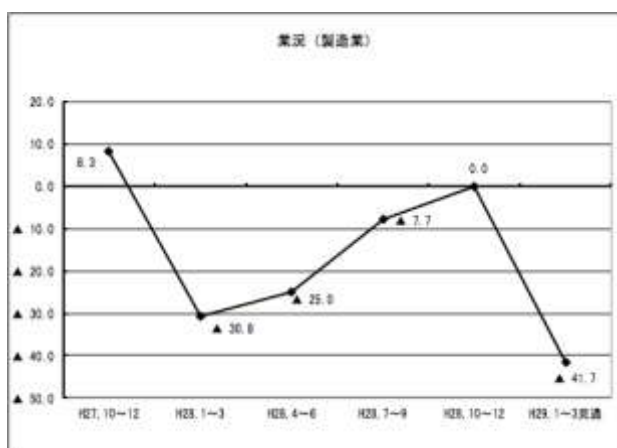
製造業

製造業の業況DIは0.0と前回調査に比べて7.7ポイント上昇した。平成28年を見ると第1四半期を底に一貫して上昇し、第4四半期になって0.0と言うところまで持ち直している。前年同時期調査と比較すると8.3低く、1年では持ち直しきれなかったことがわかる。平成29年1月～3月期見通しは▲41.7と大幅な落込みで見通しは暗い。

売上高DIは0.0で前回調査より15.4ポイント上昇した。28年を見ると四半期ごとに上昇と低下を繰り返す動きになった。前年同時期調査と比較すると今回調査は8.3ポイント低くなっている。平成29年1月～3月期見通しは▲15.4ポイントでこれまでのようなジグザグの動きが予想されている。

採算DIは0.0で前回調査と同じであった。28年を見ると第1四半期を底に第3四半期で0.0まで回復し、第4四半期にもそれが継続されている。前年同時期調査と比較すると今回調査が18.2ポイント高く採算はよくなっているようである。平成29年1月～3月期見通しは▲15.4と採算の悪化が予想されている。

資金繰りDIは0.0で前回調査より11.1ポイント上昇した。28年を見ると四半期ごとに▲11.1と0.0を繰り返しており、比較的安定していると見ることができる。前年同時期調査と比較すると±0.0でそのことを物語っている。平成29年1月～3月期見通しは▲22.2と落込んでおり、資金繰りに不安があるようである。



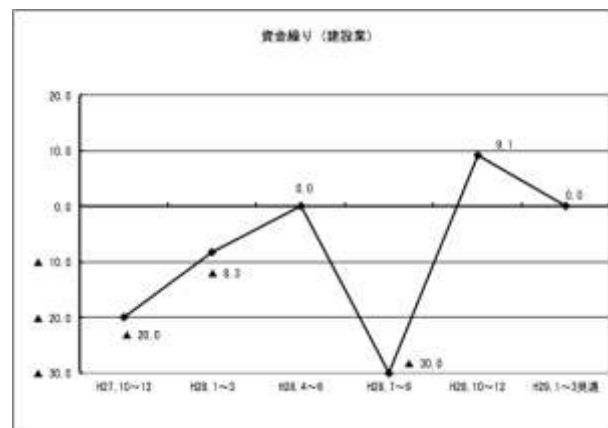
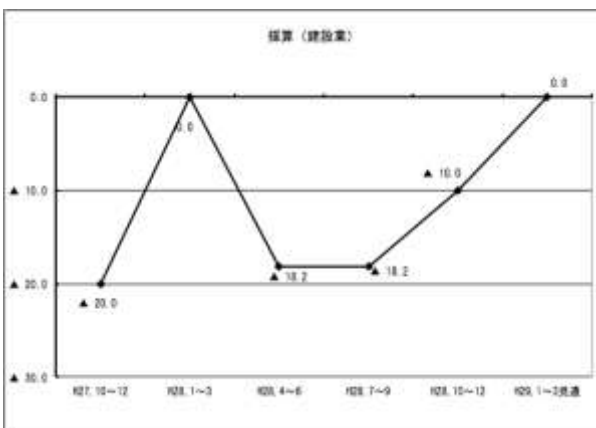
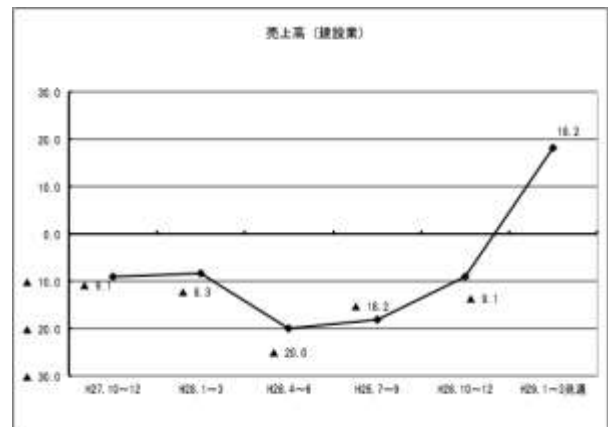
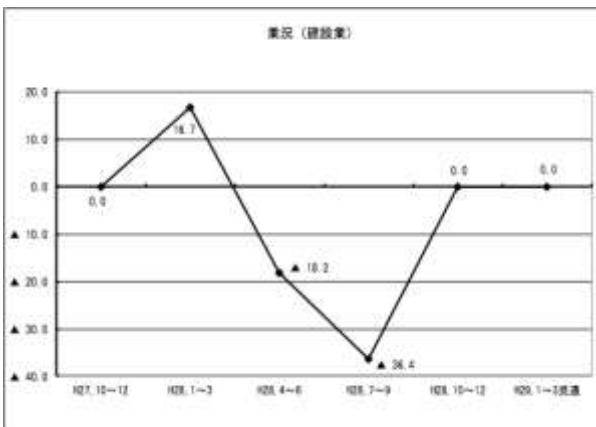
建設業

建設業の業況DIは0.0であり前回調査より36.4ポイント上昇した。平成28年を見ると第1四半期と第4四半期が良く、第2四半期と第3四半期が悪いという夏場に弱い結果になった。前年同時期調査と比較すると±0.0で元に戻ったような形になっている。平成29年1月～3月期見通しも0.0なので業況は安定していると見られている。

売上高DIは▲9.1で前回調査より9.1ポイント上昇した。28年を見ると第2四半期を底に上昇しているが数値は1年を通してマイナスであった。前年同時期調査との比較では±0.0であった。平成29年1月～3月期見通しは18.2と一気に27.3ポイント上昇しており、次の四半期に期待が寄せられている。

採算DIは▲10.0で前回調査より8.2ポイント上昇した。28年を見ると第2四半期と第3四半期が▲18.2でなべ底のようにになっている。前年同時期調査と比較すると10.0ポイント上昇しており、上昇傾向にあるようである。平成29年1月～3月期見通しは0.0とさらに上昇している。

資金繰りDIは9.1で前回調査より39.1ポイント上昇した。28年を見ると第3四半期が極端に悪く、それを除けば安定的に推移している。前年同時期調査と比較すると29.1ポイントの上昇で資金繰りは良化していると考えられる。平成29年1月～3月期見通しは0.0で今回調査より下っているものの悪いという判断をする数値ではない。



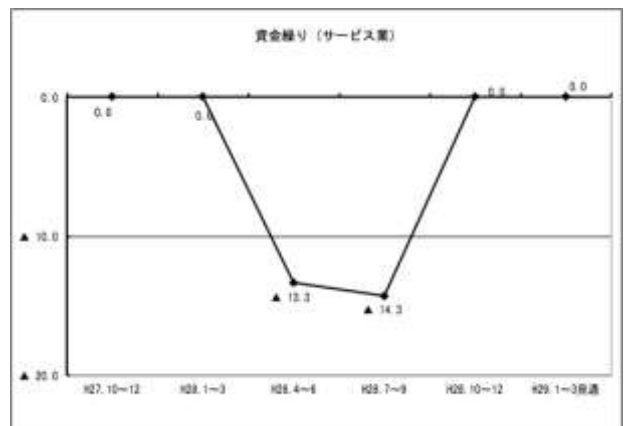
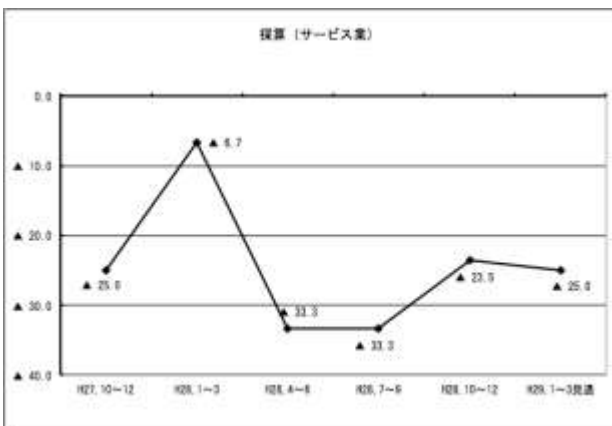
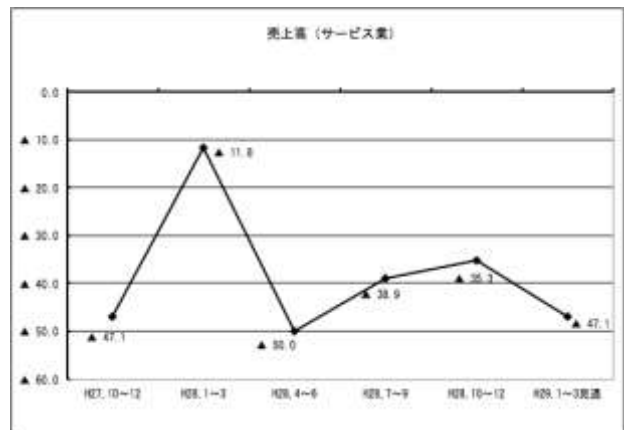
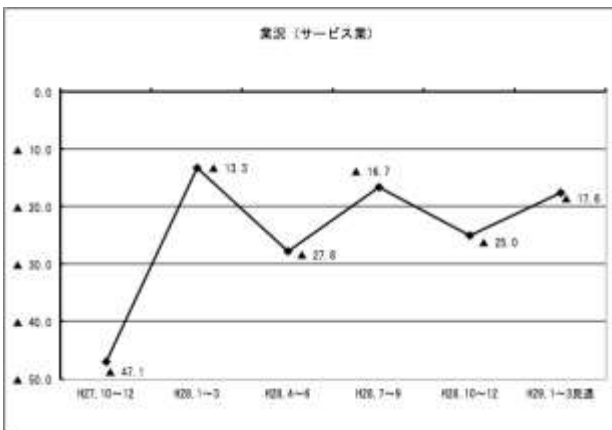
サービス業

サービス業の業況DIは▲25.0で前回調査より8.3ポイント低下した。平成28年を見るとマイナス数値で上昇と低下を繰り返す動きとなった。前年同時期調査と比較すると22.1ポイントの上昇であり、1年を通してみると良い方向に向っているように見える。平成29年1月～3月期見通しは▲17.6で良い方向の動きは変わらないと見通されている。

売上高DIは▲35.3で前回調査より3.6ポイント上昇した。28年を見ると第2四半期で大きく下げ、その後徐々に回復しているという構図である。前年同時期調査との比較では11.8ポイント上昇である。しかし、平成29年1月～3月期見通しは▲47.1と下げており、回復基調は続かないと悲観されているようである。

採算DIは▲23.5で前回調査より9.8ポイント上昇した。28年を見ると第1四半期以外は低調である。前年同時期調査と比較すると1.5ポイント上昇しているが、全体としては芳しいと言えない。平成29年1月～3月期見通しは▲25.0でこの状態は回復しないと見通されている。

資金繰りDIは0.0で前回調査より14.3ポイント上昇した。28年を見ると第2四半期と第3四半期を底にするなべ底のようになっている。前年同時期調査と比較しても±0.0なので夏場の資金繰りが悪かったと言える。平成29年1月～3月期見通しも0.0なので資金繰りは安定しているようである。



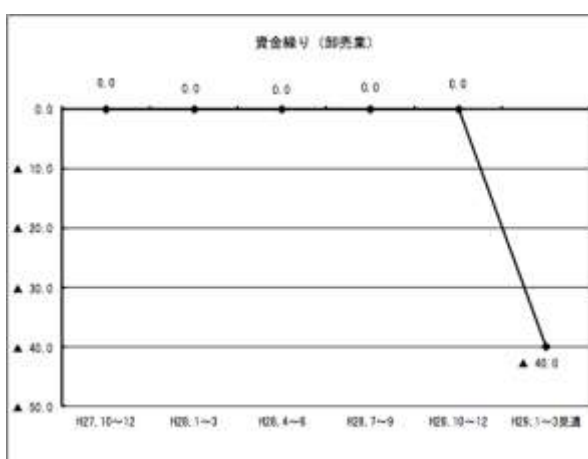
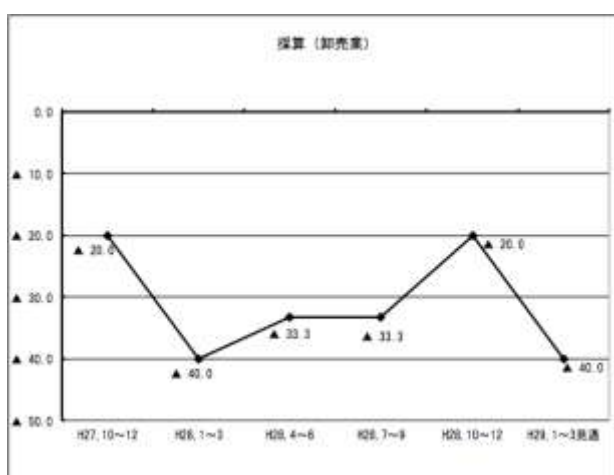
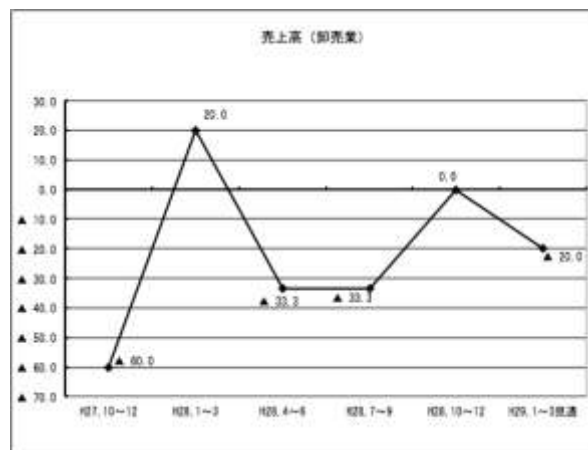
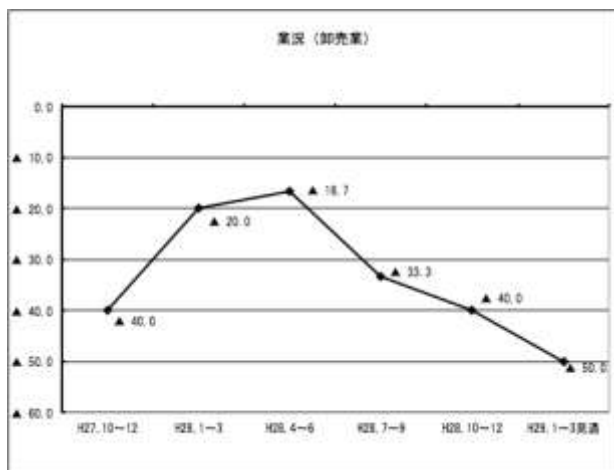
卸売業

卸売業の業況DIは▲40.0となり前回調査に比べて6.7ポイントの低下である。平成28年を見ると第2四半期をピークとする山状になっている。前年同時期調査との比較では±0.0なので1年間で結果的に元に戻ったことになる。平成29年1月～3月期見通しは▲50.0とさらに悪くなっており、ズルズルと悪化して行くように見通されている。

売上高DIは0.0で前回調査より33.3ポイント上昇した。28年を見ると第2四半期と第3四半期が底になったなべ底のようになっている。ただ、前年同時期調査と比較すると60.0ポイントの上昇なので1年でかなり回復したことになる。平成29年1月～3月期見通しは▲20.0で再び悪化が懸念されている。

採算DIは▲20.0で前回調査より13.3ポイント上昇した。28年を見ると第1四半期を底に少しずつ回復している。前年同時期調査と比較すると±0.0なので、28年の第1四半期での落込みを1年で元に戻したことになる。平成29年1月～3月期見通しは▲40.0と大きく下げている。

DI資金繰りDIは0.0で前回調査と同じである。平成28年は±0.0が続いており資金繰りは安定しているようであったが、平成29年1月～3月期見通しは▲40.0と悪化が見通されている。



DI 指数一覧表

	昨年の同期との比較					
	業況		売上高		採算（経常利益）	
	10～12月期 動向	1～3月期見 通し	10～12月期 動向	1～3月期見 通し	10～12月期 動向	1～3月期見 通し
全 体	▲ 17.7	▲ 25.0	▲ 12.7	▲ 21.9	▲ 17.5	▲ 19.0
小売業	▲ 29.4	▲ 31.3	▲ 5.6	▲ 27.8	▲ 27.8	▲ 22.2
製造業	0.0	▲ 41.7	0.0	▲ 15.4	0.0	▲ 15.4
建設業	0.0	0.0	▲ 9.1	18.2	▲ 10.0	0.0
サービス業	▲ 25.0	▲ 17.6	▲ 35.3	▲ 47.1	▲ 23.5	▲ 25.0
卸売業	▲ 40.0	▲ 50.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0

	該当期について				昨年の同期との比較	
	採算（経常利益）水準		取引の問い合わせ		従業員	
	10～12月期 動向	1～3月期見 通し	10～12月期 動向	1～3月期見 通し	10～12月期 動向	1～3月期見 通し
全 体	9.4	0.0	▲ 33.9	▲ 39.3	0.0	▲ 14.0
小売業	▲ 11.1	▲ 11.8	▲ 37.5	▲ 25.0	0.0	0.0
製造業	53.8	30.8	▲ 23.1	▲ 23.1	0.0	▲ 8.3
建設業	18.2	0.0	▲ 36.4	▲ 18.2	18.2	▲ 18.2
サービス業	0.0	▲ 5.9	▲ 41.2	▲ 35.3	▲ 18.8	▲ 26.7
卸売業	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 25.0	20.0	▲ 20.0

	3カ月前との比較					
	資金繰り		長期借入れ難易度		短期借入れ難易度	
	10～12月期 動向	1～3月期見 通し	10～12月期 動向	1～3月期見 通し	10～12月期 動向	1～3月期見 通し
全 体	0.0	▲ 11.3	10.4	4.3	10.4	8.5
小売業	▲ 5.6	▲ 12.5	9.1	9.1	9.1	9.1
製造業	0.0	▲ 22.2	20.0	11.1	20.0	11.1
建設業	9.1	0.0	0.0	▲ 10.0	0.0	10.0
サービス業	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7
卸売業	0.0	▲ 40.0	0.0	▲ 20.0	0.0	20.0

過去からの動向

